

道徳の時間のための
「情報モラル自作資料集」の作成と活用
—生徒の道徳的価値の自覚を深める指導の充実を目指して—

研究構想図

長期研修員 栗原 猛

情報モラルに関わる道徳的価値の自覚の深まり



道徳の時間

道徳の内容

2. 主として他の人との
かかわりに関すること

- (1) 礼儀、適切な言動
- (2) 人間愛、思いやり
- (3) 信頼・友情



4. 主として集団や社会と
のかかわりに関すること

- (1) 遵法、社会の秩序
と規律
- (2) 公德心

情報社会の倫理

心を磨く領域

法の理解と遵守

情報モラル教育の内容

道徳の時間のための「情報モラル自作資料集」

読み物資料・提示資料

- ・生徒のインターネットの利用実態や、発達段階に合わせた読み物資料
- ・大型画面に提示できるデジタル資料



教師用指導資料

- ・情報モラルの知識を伝え、道徳の授業展開を示した資料

1年 「SNSのでのできごと」 SNSを利用してのコミュニケーション
「写真の行方」 インターネットへの正しい投稿

2年 「ラッキーなはずなのに」 著作権などのインターネット上のきまり
「あのときのこと」 インターネット上での人間関係

3年 「これでよかったのかな？」 インターネット上での個人の権利の尊重
「みんな困っています」 ネットワーク社会をつくっていくための心構え

ワークシート

- ・自分との関わりで道徳的価値をとらえたり、振り返ったりするためのワークシート



生徒の実態

- ◆ ネット上のトラブルで、嫌な思いをしてしまう
- ◆ ネットの公開性や記録性の認識が十分でない

教師の悩み

- ◆ 道徳の時間の情報モラル資料が少ない
- ◆ 道徳の時間の授業展開になりにくい
- ◆ 情報に関する知識が少ないので不安
- ◆ どの問題を扱うべきか分からない



教師用指導資料

情報モラル指導モデルカリキュラムの目標や、生徒に伝える情報モラルの内容を意識して指導できる

提示資料で関心・意欲を高める

読み物資料

提示資料



中心発問と振り返りを充実させる



ワークシート

導入

展開前段

展開後段

終末



価値を意識する

事前のアンケート結果の提示により、短時間で道徳的価値を意識する



価値を理解する

読み物資料や提示資料をもとに道徳的価値や情報モラルの内容を理解する



価値をとらえる

書いて伝え合う活動しながら自分との関わりで道徳的価値をとらえる



自分自身を振り返る

情報モラルに関わることで自分自身を振り返る



思いや考えを温める

「私たちの道徳」を読んで、道徳的価値に対する思いを温める(生活全般で)

生徒の記述

「ネット上だと本人に言えないことも普通書き込めてしまう。今まで自分も時々やってしまっていたので書き込む前に一度冷静になって、相手の立場になってから発言する。そして、発言に責任を持つのが大切だと思った。」

成果

生徒の情報モラルに関わる道徳的価値の自覚を深める指導の充実を図ることができた。

課題

携帯情報端末を使っていない生徒もいるので、各教科等との関連的な指導を工夫していく必要がある。

提言

生徒の携帯情報端末の利用が日常的になってきています。道徳の時間においても、情報モラルに関する指導を充実していきましょう。